



六甲山にまつわる自然、環境、文学、食などの多彩な催しを大学のカリキュラムに見立てて情報発信する「六甲山大学」。山の旬の情報を通して、六甲山の魅力に迫ります。(毎月第3日曜日に掲載します)

摩耶山天上寺

沙羅の花 気品に満ちた美

摩耶山天上寺には、日本で「沙羅の木」として知られるナツツバキ三十数株が植わる＝写真。同寺は標高700mの山頂にあるので平地より10日ほど遅い6月中旬から咲き始め、毎日数輪が咲いては散る。それが7月初旬まで続く。



耶夫人が描かれている。摩耶山には四季を通じ、俳人たちが今行に訪れる。梅雨の候、静けさをお楽しみください。☎078・861・2684

六甲山ビジターセンター

チョウと触れ合う夏休み

県立六甲山ビジターセンターは夏休みの企画展示「みんな知ってる？ チョウのあれこれ2024～神戸・六甲山のチョウの魅力～」を



7月12日から9月1日まで催す。チョウの生態の秘密や面白さを、子どもから大人まで楽しみながら学習できる。

期間中の7月21日、同23日には、蚊帳に入ってチョウの蜜やりを体験する＝写真＝など、実際に触れて観察できる特別ふれあいイベントを実施。23日は六甲山小学校と連携し、児童が育てた幻のアジサイ「シチダンカ」の苗を来場者に贈る(先着50人)。

今夏は同センターでチョウと触れ合ってみませんか。詳細は同センターホームページでご確認ください。http://rokkosan.center/

ロコノマド

真珠の個性楽しんで

六甲山上の森にある宿泊施設「ROKKONOMAD(ロコノマド)」は21～23日、ギャラリーで海から採れたまま一切加工しない真珠のジュエリーブランド「acoya(アコヤ)」の展示会を開く。クリエイティブディレクター、オオチトセさんを招き、全シリーズを紹介。自然の個性を生かした作品との一期一会をお見逃しなく。11～17時。



最終日には「ゆるっとひるのみピクニック」も開催。すがすがしい風や鳥の声の中で食事を楽しめる＝写真。

神戸の飲食業「レピス」と「スパイス計画」が料理を担当。ワイン業「つきやま」がナチュラルワ

イン、元町のバー「レバトー」がカクテルを選ぶ。真珠入り特別ドリンクも数量限定で販売予定。11～17時(注文16時半)。15時からワインのお話し会も。入場無料。https://rokkonomad.org

ヴォーリス六甲山荘のリビング＝いずれも神戸市灘区六甲山町北六甲



1934(昭和9)年、関西学院大学と神戸女学院、フロインドリブ本店(旧神戸)が設計し、関西学院大学が設計した小寺敬一の別荘として建てられた。小寺は大のゴルフ好きで、現在もある日本最古のゴルフ場「神戸ゴルフ倶楽部」の隣に建てられた。敷地内のクラブハウスもヴォーリスの設計だ。

緑陰の名建築 魅力アップ

根岸真理が案内 山の四季 山は活動拠点とし、六甲山大学広報専門委員。著書に「六甲山を歩こう」など。



「ヴォーリス記念・きょうだいの森」にある「室谷邸記念館」。旧室谷邸の門廊の部材を生かし、東屋として活用

もうすぐ夏本番。六甲山上で優雅に避暑気分を味わいたい人には、「ヴォーリス六甲山荘」をお勧めしたい。ここ数年、隣地に敷地が広がり、新たな散策道や広場、休憩所などが登場。パワーアップしているのだ。山バスの停留所「記念碑台」から東へ徒歩約15分、緑陰が心地いい木立の道を進むと、平屋建ての同山荘がある。木々に囲まれ、道からはよく見えない。近くは県立六甲山ビジターセンター・ガイドハウスで案内人業務をしている。時折道を尋ねられるが確かに分かりにくいかもしれない。

コテージ新設へ資金を募る 山荘管理のNPO法人 カフェ、創作拠点に

ヴォーリス六甲山荘(旧小寺山荘)を所有・管理するNPO法人「アメニティ2000協会」(西宮市)は、敷地内にクラフトセンターとカフェ機能を備えた施設「ヴォーリス・コテージ」を新たに設けるため、19日午前9時からクラウドファンディングで建設費のための支援金を募る。

同山荘は国登録有形文化財や近代化産業遺産、ひょうご近代住宅100選に選ばれた歴史的建造物。同協会は2008年に広く寄付金を募って同山荘を購入、保存している。18年には隣地の8318平方mを購入し「ヴォーリス記念・きょうだいの森」を整備。「室谷邸記念館」も建設した。

同コテージは同館近くの県道沿いに開設。木造平屋建て約65平方mで、屋根は緑化された草屋根にする。飲食のほか、日本



完成イメージの3Dパース図

の伝統工芸品を展示・販売したり、創作したりする空間に利用予定で、駐車場も整備。来年4月の開設を目指す。玄関ガラスやドアノブ、窓などには旧室谷邸をはじめ他のヴォーリス建築に使われた部材を活用するといひ、ヴォーリス建築の研究者として知られる大阪芸術大学名誉

教授の山形政昭さんが基本設計を担った。建設費は約4400万円。クラウドファンディングは「レディーフォー」＝QRコード＝で、600万円を目標に8月30日午後11時まで挑戦する。

同協会の清水彬久理事長は「文化遺産としてのヴォーリス六甲山荘の価値を高めて後世に守り伝えていくため、ぜひ応援してもらいたい」と話している。

ランチ&ケーキ付き座談会 7～8月

同協会は7～8月、同山荘築90周年記念のランチ&ケーキセット付き座談会・講演会シリーズ(全4回)を同山荘で催す。日程は7月11日、19日、26日、8月1日。初回は田淵結・関西学院元院長、福原成雄・文化遺産信託研究会理事長が語り合う。各日とも正午から、定員20人。参加費4500円。4回通しは1万5千円。同協会☎0798・65・4303(ファクス兼用)、メールsoshisha@f6.dion.ne.jp

(松本寿美子)

◆7月のミントサロン「滝から始まる登山の魅力」 7月10日19～20時(講演)、20時～20時半(懇親会)、ミント神戸18階のミントテラス(JR三宮駅)。講師は登山ガイドの中辻郁美さん＝写真。「布引の滝」をは

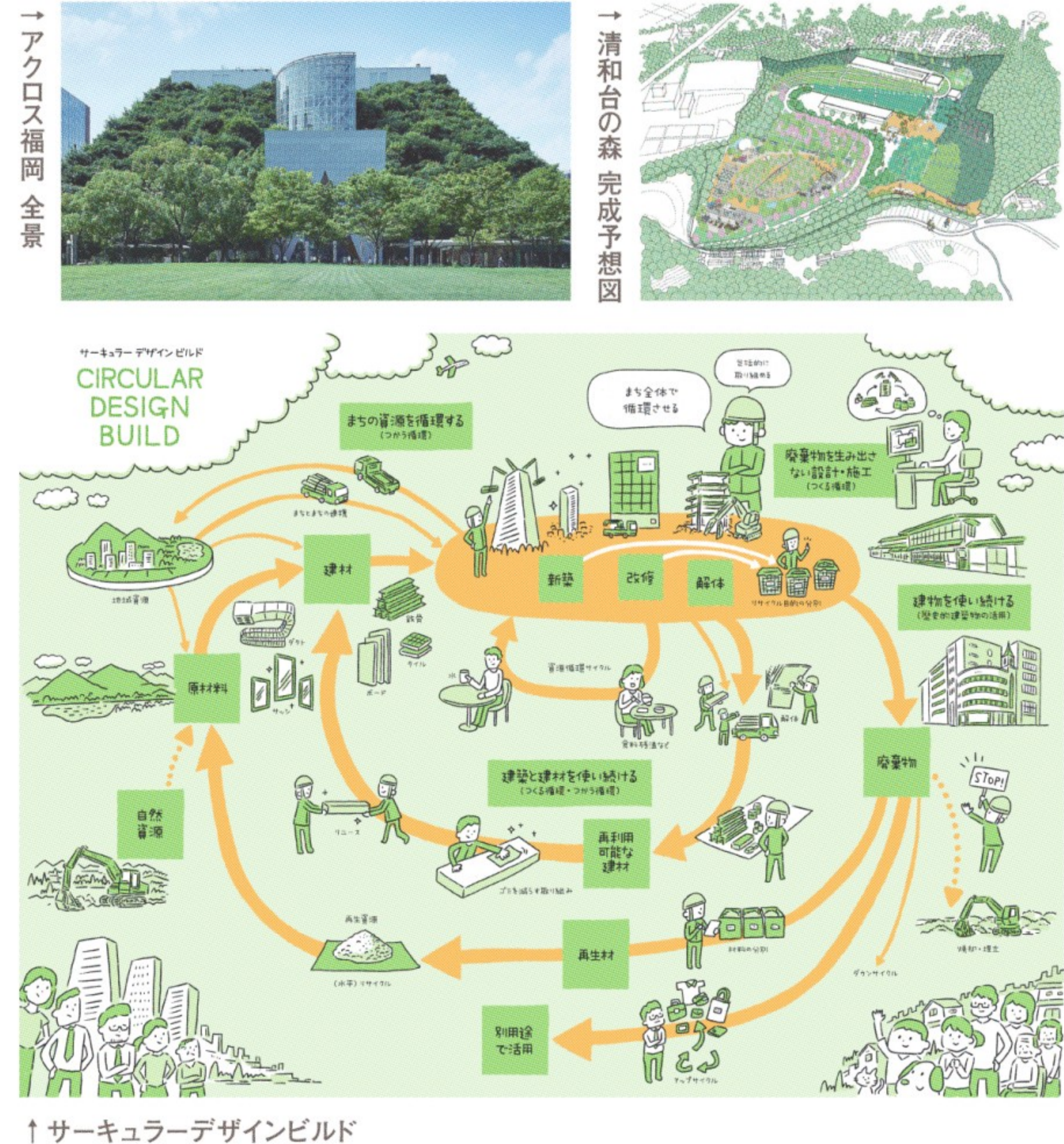


じめ多くの滝がある六甲山系。夏の暑さを和らげてくれる涼を求め、滝目線では先着50人。要予約。住所、名前、電話番号、ファクス番号、年齢、性別を書き、メール(mintsalon@kobe-np.co.jp)またはファクス(078・360・5514)で申し込

む。六甲山大学事務局ミントサロン係☎078・362・2983

催しの日程、内容などは変更される場合があります。お出かけ前に主催者にご確認ください。ホームページhttp://653daigaku.com/

環境との調和を目指す



竹中工務店は業界に先駆けて環境への取り組みを進めてきました。1971年に「設計に緑を」を標語に掲げ、1992年に地球環境憲章、2009年に環境方針、2010年に環境メッセージ「人と自然をつなぐ」、2012年には生物多様性活動指針を制定しました。2019年12月に脱炭素社会を目指してCO2削減長期目標を設定し、2022年12月には当社グループ全体を対象とした新たな目標を設定しました。2050年までに100%削減することを目指しており、2030年の中間目標として2024年3月にSBT認定を取得しました。

脱炭素社会の達成のために、低炭素型のECMコンクリート、CO2吸収型コンクリートの開発、ZEBの拡大など具体的な取り組みを進めています。ZEB(ネットゼロ、エネルギービル)はエネルギー消費量を実質ゼロとする建物のことで、設計件数は年々増えています。また、躯体(くたい)工事のCO2削減のため、特に低炭素型鋼材、低炭素型セメント、木質系材料の採用を推進しています。2023年1月に構造部門環境宣言を行い、多くの建物で用いる鉄骨とコンクリートについて、電炉鋼材とECMコンクリートを設計図書にスペックインする方針としました。またまた制約はあるものの、設計図書に反映させながら、CO2排出量の削減につなげていきます。



2017年より兵庫県川西市にある研修所にて、「清和台の森づくり」プロジェクトを立ち上げており、生態系・生物多様性保全のモデルをつくり実証する活動を進めています。この活動を通して、自然資本を支える生物多様性の保全を自分事化できる人材育成を行うとともに、その知識をお客様への価値提供へとつなげていきたいと思えます。

わたしたちは 六甲大学 の活動を応援しています

